

平成28年4月25日
横浜高速鉄道株式会社

鉄道車内に持ち込める手回り品のルールの一部変更について

横浜高速鉄道では、平成27年6月30日に発生した東海道新幹線「のぞみ225号」における車内放火事件を受け、鉄道車内に持ち込める手回り品のルールについて、JRおよび民営鉄道各社局と同様に、一部変更することといたしましたのでお知らせいたします。

1. 変更内容

これまで、容器を含む重量が3キログラム以内であれば持ち込みいただけていたガソリンをはじめとする可燃性液体そのものは、量に関わらず、車内への持ち込みができなくなります。

- ・ ただし、可燃性液体を含むものであっても、酒類・化粧品類・医薬品など日常の用途に使用するもので、小売店などで一般的に購入いただける製品については、2リットル以内または容器を含む重量が2キログラム以内であれば、引き続き車内に持ち込みいただけます。
 - ・ また、高圧ガス、可燃性固体についても、これらを含む小売店などで一般的に購入いただける製品については、2リットル以内または容器を含む重量が2キログラム以内であれば持ち込みいただけます。
- ※ 具体例は、別紙をご参照ください。

2. 変更日

平成28年4月28日（木）

以 上

手回り品のルールの主な変更点

別紙

	具体的な物品例	現在	変更後
可燃性液体	ガソリン・灯油・軽油	○ (3 ^{kg} 以内※)	×
	酒類・化粧品類・医薬品・ライター	○ (3 ^{kg} 以内※)	○ (2L・2 ^{kg} 以内※)
	ペンキ	○ (10 ^{kg} 以内※)	○ (2L・2 ^{kg} 以内※)
高圧ガス	ヘアスプレー・防水スプレー・ スポーツ用冷却スプレー	規定なし	○ (2L・2 ^{kg} 以内※)
	カセットボンベ用カセットガス	規定なし	○ (2L・2 ^{kg} 以内※)
	LPガス (業者から購入するものなど)	×	×
可燃性固体	キャンプ用固形燃料	○ (3 ^{kg} 以内※)	○ (2 ^{kg} 以内※)

※容器・荷造を含めた重量

◎ 可燃性液体を含む製品など、車内に持ち込めるものであっても、不注意等によって、中身が簡単に漏れ出ないように適切に保護してください。